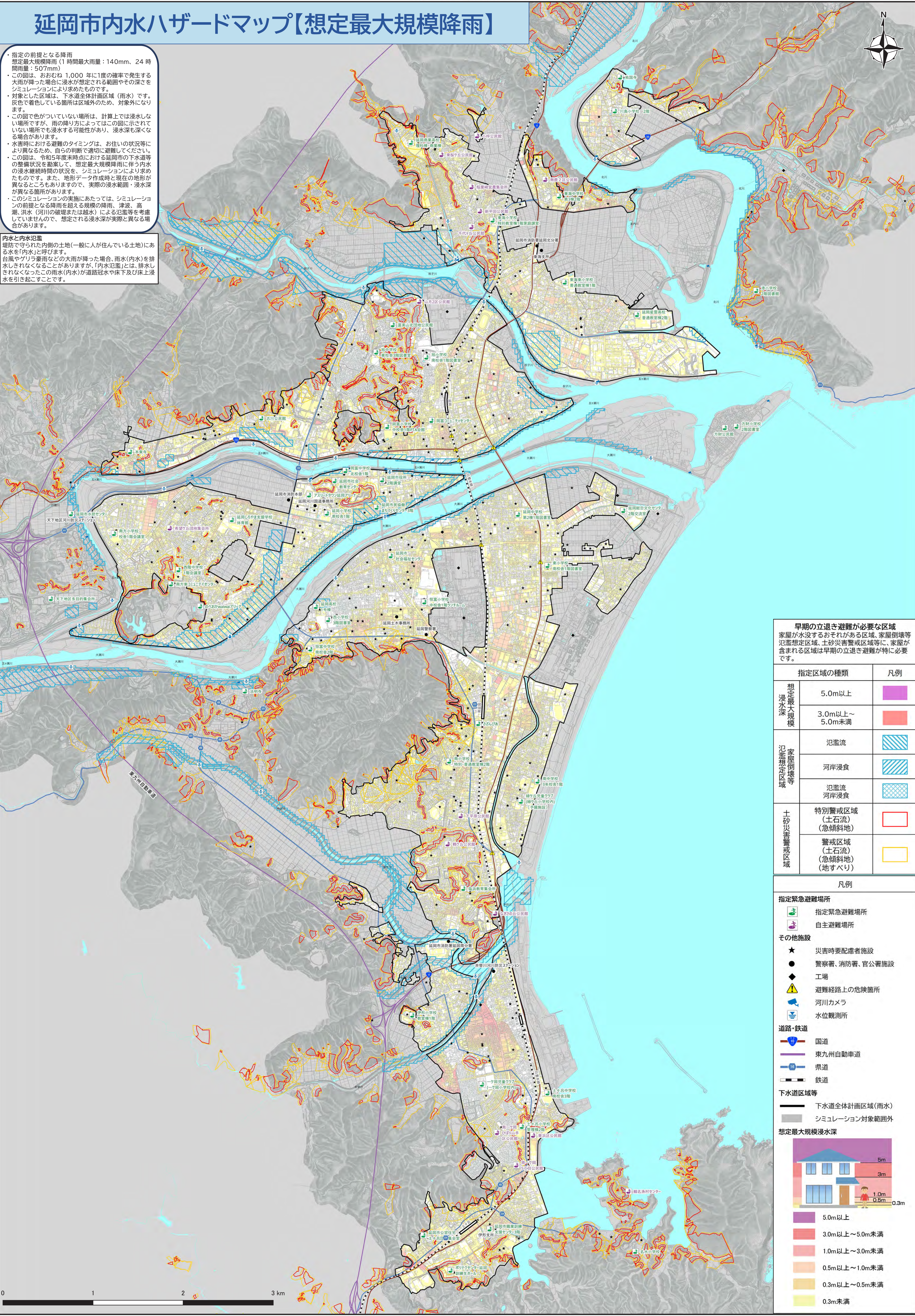


延岡市内水ハザードマップ【想定最大規模降雨】

・指定の前提となる降雨
想定最大規模降雨（1 時間最大雨量：140mm、24 時間雨量：507mm）
・この図は、おおむね 1,000 年に1度の確率で発生する大雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さをシミュレーションにより求めたものです。
・対象とした区域は、下水道全体計画区域（雨水）です。灰色で着色している箇所は区域外のため、対象外になります。
・この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所ですが、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合があります。
・水害時における避難のタイミングは、お住いの状況等により異なるため、自らの判断で適切に避難してください。
・この図は、令和5年度末時点における延岡市の下水道等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う内水の浸水継続時間の状況を、シミュレーションにより求めたものです。また、地形データ作成時と現在の地形が異なるところもありますので、実際の浸水範囲・浸水深が異なる箇所があります。
・このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。

内水と内水氾濫
堤防で守られた内側の土地（一般に人が住んでいる土地）にある水を「内水」と呼びます。
台風やゲリラ豪雨などの大雨が降った場合、雨水（内水）を排水しきれなくなることがありますが、「内水氾濫」とは、排水しきれなくなったこの雨水（内水）が道路冠水や床下及び床上浸水を引き起こすことです。



早期の立退き避難が必要な区域
家屋が水没するおそれがある区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域等に、家屋が含まれる区域は早期の立退き避難が特に必要です。

指定区域の種類		凡例
想定最大規模浸水深	5.0m以上	
	3.0m以上～5.0m未満	
氾濫想定区域 家屋倒壊等	氾濫流	
	河岸浸食	
	氾濫流 河岸浸食	
土砂災害警戒区域	特別警戒区域（土石流）（急傾斜地）	
	警戒区域（土石流）（急傾斜地）（地すべり）	

凡例

指定緊急避難場所

- 指定緊急避難場所
- 自主避難場所

その他施設

- ★ 災害時要配慮者施設
- 警察署、消防署、官公署施設
- ◆ 工場
- 避難経路上の危険箇所
- 河川カメラ
- 水位観測所

道路・鉄道

- 国道
- 東九州自動車道
- 県道
- 鉄道

下水道区域等

- 下水道全体計画区域（雨水）
- シミュレーション対象範囲外

想定最大規模浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 1.0m以上～3.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- 0.3m未満

